

長野県 公運協だより

第 150 号

発行所
長野県公民館運営協議会
長野市若里 1-1-4
県立長野図書館内
電話 (026) 217 - 6256
FAX (026) 217 - 7015

一年を振り返って

長野県公民館運営協議会

会長 柏澤 由紀一



この一年、機会あるごとに、東京大学大学院の宇野重規先生の著作

「民主主義とは何か」を引いて、公民館活動について語ってきました。先生は、著作の中で、民主主義とは、多くの人が意思決定に加わること（参加）、決められたことを実行に移すこと（責任）、そして地域の課題を地域で解決すること（自治）だとしています。地域の課題を地域で解決するためには、問題意識を持った人が集い、学び、結ぶことが必要です。まさに公民館が一貫して取り組ん

で来たことと一致します。その上、公民館は、まさに、民主主義の学校なのです。

この一年も新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けました。館長会、主事会の総会・研修会、館報関係者研修会は、何とか開催できましたが、最大のイベントである公民館大会は、リモートで開催せざるを得ませんでした。

しかし、コロナ禍の二年間で、公運協もWEB会議開催能力が飛躍的に高まり、今年度の新しい事業として、リモートによる公民館支援講座を四回にわたって開催することができました。

集まって学ぶことが公民館の基本ですが、今後は、ケースバイケー

スでWEBも活用しながら、学びの機会を増やすことが大切です。令和に入り、人口減少が更に加速し、公民館運営協議会の財政基盤にも影響を及ぼしています。そうした中、公運協を支援しようとの動きがOBを中心に生まれたことを心強く思います。

財政基盤の他にも、公民館の首長部局への移管、指定管理化など多くの課題を抱えています。こうした課題を学び、集い、解決することが今後の課題です。

課題解決に向けて積極的な参加をお願いします。

県公運協第6回役員会（オンライン）



文部科学省 優良公民館表彰
飯綱町公民館

長野県教育関係功労表彰

元長野県公民館運営協議会長（元松本市大手公民館長）

筒井 美保子

公益社団法人 全国公民館連合会 功労者表彰

元長野県公民館運営協議会長・前理事（伊那市伊那公民館長）

細江 孝明

元長野県公民館運営協議会長・前監事（前小諸市公民館長）

松本 文一

元長野県公民館運営協議会長・前顧問（前松本市安原地区公民館長）

滝澤 澄夫

公益社団法人 全国公民館連合会 インターネット活用コンクール

銀賞 塩尻市塩尻東公民館

奨励賞 豊丘村公民館

第四回公民館職員

支援講座に参加して

山形村公民館

館長 百瀬純雄

第四回公

民館職員支

援講座「ウ

イズコロナ

からアフ

ターコロナ



に向けて」に参加させていただき
ました。Zoom方式でのこうし
た講座に参加するのは初めてでし
たが、今後の公民館活動に大変役
立つ講座だと思いました。

今、ほとんどの公民館はコロナ
禍で苦しんでいます。そんな状況
下であっても、活発に事業を行っ
ている話を聞くことができ、今後
の進め方の参考になりました。特
にグループに分かれての討議（分
散会）では、東御市公民館の原澤
館長さんのスムーズな進行で話が
盛り上がりました。同市では信州
大学の出前講座を活用して、県新
型コロナウイルス感染症対策専門
家懇談会メンバーで、医学部付属
病院感染制御室副室長の金井信一

郎医師を講師に迎えて講演会を行っ
たそうで、新型コロナウイルスに對して恐
れすぎてもいけないし、恐れなく
てもいけない、公民館レベルの感
染防止対策をしていけばクラスター
は起きにくい旨の話があったこと
をご紹介いただき、私自身大変勇
気付けられました。

他にも積極的に事業展開してい
る話をお聞きし、自分の所では何
ができるのかと考えるに至り、昨
年度当方で行った「アイスクラン
ドル大作戦」を小学校PTAも巻
き込んでやってみたい、春の恒例
行事「小学校枝垂れ桜ライトアッ
プ」を、公民館もタイアップして
やってみたいと思っています。

講座を通じて各公民館が私共と
同じように、大変苦労しながら運
営をしていることが再確認でき、
安心した一面もあります。今でき
ることを少しずつ、工夫しながら
進めていけたらと思います。



ブロックニュース

東信

身近な課題で

研修会を開催

御代田町公民館

市川愛加

今年度実施した二つの研修会を
ご紹介します。

一つは公民館で継続して開催し
ている「いきいき学級」の講座で
す。諏訪中央病院副院長の高木宏
明氏を講師に迎え、新型コロナウ
イルスについて学びました。

新型コロナウイルスをはじめ今
までの感染症では、流行とともに
世間に不安と恐怖が蔓延すること
による「差別と誹謗中傷」が生じ
てきました。

た。不安
は誰にで
もありま
すが、何
が感染の
きっかけ
になるの
か、ウイ
ルス感染
とはどう



いうことなのかを理解して、知識
を持って感染対策をする大切さを
学びました。

もう一つは、分館長を対象とし
た研修会です。長野県男女共同参
画センター主催の「災害時のトイ
レは命にかかわる！地域防災に女
性の視点を」(講師・NPO法
人日本トイレ研究所 加藤篤氏)
をオンラインで受講しました。

大きな災害が起こって電気や水
道が止まったらどうしますか？
トイレも使えないかもしれないま
せ。研修では避難所での実例をも
とに、どのような備えが必要か教
えていただきました。普段当たり
前に感じていることが、災害時に
はそうではなくなります。その時
のために今自分たちに何ができ
るのか学びました。

新型コロナウイルスのような感
染症や大規模な災害の脅威は、い
つ襲ってくるかわかりません。い
ざというときに備えて、必要な準
備や対策についての正しい知識を
得るための支援を、今後も公民館
として行っていく必要があると思
いました。

リーコラム

「長野県らしい
公民館とは？」⑦

笑顔が集まるどころ

上松町公民館

前館長 久保寺明子



館長を受けた平成二十三年度は、
体育館を併設し建設された上松町
公民館が、老朽化のため耐震工事
に合せて、大規模改修が行われ
ました。町で暮らす人の「笑顔が
集まるところ」・「あなたが主役」
で活動できる公民館にしたいと願
い、使いやすく地域活性化の拠点
となるような、機能を充実した公
民館に改修され
ました。ワーク
ショップで町民
の意見を聞き、
外からそのまま
入ることができ
るフロアーや、
身体が不自由で
もエレベーター
でどの階にも自
由に行けるよう
になりました。
玄関ロビー横の

メインの場所に、明るく使いやすい図書室と、地域の人と障がい者の交流拠点となる喫茶コーナーもできて、障がいのある方の就労支援のお店になりました。喫茶のコーナーカップも町の陶芸クラブや、木曾養護学校の生徒さんの手作りでとても素敵です。美味しいコーヒーを求めて来てくれる町の常連さんもできて、喫茶スタッフとの楽しい会話が弾みます。

今はどこもコロナ禍で、計画している活動ができない状況ではないかと思えます。木曾郡公民館大いもコロナの影響で、縮小されていますが、今まで各町村の人が一堂に集まり、自分達が頑張っていること、抱えている問題などを出し合い、次回の活動に生かしてきました。これからも郡や県、他の地域からの情報を得て、自分達ができることで、みんなの笑顔が広がる公民館活動を展開して欲しいと願っています。

先日、上松町出身の御嶽海関が初場所で優勝し大関になりました。とても大きな力をいただきました。御嶽海関のこれからの活躍と、公民館を支えている皆様のこれからの活躍に期待します!!

ここに生きる

村の分館

高山村公民館

館長 望月千恵子

当村の自慢は、四季折々の美しい自然、きれいな空気、おいしい野菜と果物、そして人です。

公民館は村に一つで、分館が二十四あります。歴史をたどると、高山村はかつての高井村と山田村が合併、それ以前は、村がごく細かく分かれていました。それぞれの地区での活動は途切れなく行われ、今につながってきています。分館にみる地区の昔からの伝統や活動の他、独自の行事やイベントもあり、新たにできた区はそれなりに、どこも個性的・独自性があり豊かな営みを行っています。

公民館は、誰もが生涯にわたり、豊かで活力ある日々を送ることができるような場を提供することを大事にしており、講座等に大勢の村民の皆さんの参加を願っています。分館を訪れ一緒に活動していると、この分館という小さなコミュニ



ニティーには、村に一つの公民館とは一味違う「つどう・まなぶ・むすぶ」があると実感します。公民館長四年・コロナ禍を経て、改めて公民館とは、大事なことは何か、と考えています。

微力だけれども

決して無力ではない

豊丘村公民館

館長 市澤和宏

豊丘村ってどこ？南信の下伊那郡です。飯田市の北東に位置しています。天竜川の左岸、典型的な

河岸段丘の村です。松茸・市田柿の産地です。なんて会話で村を紹介します。

豊丘村公民館は令和三年に公民館としてはとても珍しいと思いましたがSDGs取り組み宣言を行い活動をしてきました。折しも新型コロナウイルスが世界中に蔓延しはじめた時でした。これに立ち向かうため一人がマスクの着用・手洗い・密を避けることが重要と推奨されました。SDGsも世界的な開発目標を達成するために、世界が目指す目標に豊丘村の個人ができることをコツコツ積み上げれば達成に近づけるのではないかと、この思いでスタートしました。

一年目は「SDGsを知っていただく年」と位置づけ、SDGs・ESDって何だろう？と題し勉強会・講演会で私がお話しさせていただきました。延べ二百名余の皆さんと勉強しました。コロナ禍でしたが遠くは松本からも聴講に来ていただきました。これを繰り返すことで職員のスキルアップも計られました。この取り組みの情報発信としてホームページの更新・ツイッター・LINEの利用促進を行いました。



ました。なんと全国公民館インターネット活用コンクールにおいて奨励賞をいただきました。またどこをどう伝わったのか月刊公民館よりSDGs特集に思いの丈を書くようにと寄稿依頼があり十二月号に掲載されました。そこにも書きました。私自身が一番感じていたこと、日本ならではのもったいないとか、おばあちゃんの知恵袋的な考え方の中にSDGsの目標を達成するためのヒントがたくさん隠されている気がします。

二年目を迎えますが公民館の基本的な活動はもちろん、引き続きSDGsの推進を行って参ります。

県教委より

令和三年度

公民館活動アワード・

フォーラム

令和三年度「公民館活動アワード」の表彰活動が決定しました。次の四つの団体（公民館）の活動が表彰されました。

【地域活性化団体 和田宿にぎやかし隊 「合言葉は『あんじゃねえ』子どもと創る持続可能な地域づくりの取組」】（飯田市）

【原新田公民館 「コロナ禍の『今』だからこそできる公民館活動」】（塩尻市）

【寿地区学校応援団 「寿小学校五年生里山体験学習」】（松本市）

【芋井の歴史を学ぶ会 「地域の歴史（魅力）を学び、心豊かな地域づくり」】（長野市）

昨年引き続き、自治公民館の受賞がありました。塩尻市にある原新

田公民館です。コロナ禍でも工夫している様子が高く評価されました。その他の活動も、地域づくりにつながる日頃からの公民館活動の大変優れた取組でした。

「表彰式・フォーラム」は、二月二十六日（土）に行いました。各活動の講評は県公運協の柏澤由紀一会長、全体講師としては松本大学の白戸洋教授をお迎えして開催しました。

（文化財・生涯学習課 主任指導主事 後藤卓己）

令和3年度公運協だより編集委員

役職	氏名	所属
委員長	三ツ井 洋 樹	飯田市公民館主事
委員	中 島 啓 隆	川上村公民館主事
委員	三 田 陽 介	上松町公民館主事
委員	松 村 佐 織	豊丘村公民館主事
委員	松 澤 清	小川村公民館係長